

日本癌治療学会がん教育支援 横浜宣言 2016 について、社会連携・PAL 委員会において原案を作成し 2016 年 10 月 22 日 第 54 回日本癌治療学会学術集会において UICC との合同シンポジウム【小学生からのがん教育】を開催し、UICC（国際対がん連合会）日本委員会 委員長北川 知行、一般社団法人日本癌治療学会 理事長 北川 雄光、第 54 回日本癌治療学会学術集会 会長 中野隆史の署名のもと「がん教育支援 横浜宣言 2016」を宣言いたしました。

会員各位におかれましては、「小学生からのがん教育」の推進支援を図るというこの宣言の趣旨をご理解の上、各宣言事項を銘記していただき、本学会のがん教育支援の取り組みにご協力賜りますようお願い申し上げます。

平成 28 年 11 月 1 日  
日本癌治療学会  
理事長 北川 雄光

#### 「がん教育支援 横浜宣言 2016」

宣 言：「小学生からのがん教育」の意義に賛同し、円滑な展開のために積極的な支援を行います。

1. 児童・生徒の成長に配慮した教材の作成と改訂に協力します。
2. 内部教員・講師の研修を支援します。
3. 外部講師を確保動員する人材ネットワークに協力します。
4. 授業を受けた児童・生徒の心のケアやフォローアップを支援します。

※なお当日代表 3 名により署名された宣言書を本頁に掲載いたします。

## がん教育支援 横浜宣言 2016

「小学生からのがん教育」の意義に賛同し、  
円滑な展開のために積極的な支援を行います

1. 児童・生徒の成長に配慮した教材の作成と改訂に協力します
2. 内部教員・講師の研修を支援します
3. 外部講師を確保動員する人材ネットワークに協力します
4. 授業を受けた児童・生徒の心のケアやフォローアップを支援します

北川知行

北川知行  
UICC (国際対がん連合) 日本委員会 委員長

北川雄光

北川雄光  
一般社団法人日本癌治療学会 理事長

中野隆史

中野隆史  
第54回日本癌治療学会学術集会 会長

2016年10月22日  
第54回日本癌治療学会学術集会  
パシフィコ横浜